

# 伊能忠敬翁 没後200年記念式典

平成30年

5月20日(日)

参加費  
無料



200th Anniversary  
二百年の  
時空を  
超えて

9:15~9:45

伊能忠敬翁銅像除幕式

佐原駅南口ロータリー  
※会場に駐車場はございません。

10:00~10:30

式典

10:30~11:50

シンポジウム

佐原文化会館

## シーボルト事件

~「その時」と「その後」~

伊能忠敬翁の日本地図が欧米に伝わる契機となったシーボルト事件。

忠敬翁の業績にかかわった人々の子孫が、200年の時空を超え、事件の「その時」と「その後」を振り返る。



シーボルト子孫  
コンスタンティン・フォン・ブランデンシュタイン  
=ツェッペリン氏

### ① 基調講演

「その時」~北方図をつくった男たち

講演者: 佐々木利和氏 (北海道大学客員教授)

### ② パネルディスカッション

「その後」~我が家に伝わるもの

パネラー: 伊能忠敬子孫、シーボルト子孫、間宮林蔵子孫 ほか  
コーディネーター: 久留島浩氏 (国立歴史民俗博物館長)



伊能忠敬



フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト



間宮林蔵



シーボルト日本図(部分) Constantin von Brandenstein, Schlüchtern, Germany  
赤字 [Katori] は編集で着色

12:05~12:30

伊能大図パネル帰着式

香取市民体育館

伊能大図全国パネル公開展

香取市民体育館

5月20日(日)~25日(金) 9:00~17:00

※5月20日(日)は13:00から、25日(金)は13:00まで ※21日(月)は休館

### 【主催】

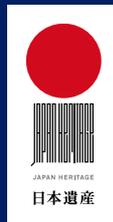
伊能忠敬翁没後200年記念事業実行委員会、香取市、香取市教育委員会、  
(一財)自治総合センター

### 【お問い合わせ】

伊能忠敬翁没後200年記念事業実行委員会事務局 (香取市役所企画政策課)

TEL: 0478-50-1206

※このシンポジウムは、全国モーターポート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。



# 伊能忠敬翁没後200年記念事業

本年は伊能忠敬翁が亡くなった文政元年(1818年)5月17日(旧暦4月13日)から200年目の節目の年です。この年を迎えるにあたり、伊能忠敬翁の偉大な業績を後世に伝え、永く歴史にとどめるため、佐原駅南口ロータリー内に銅像を建立するほか、国宝伊能忠敬関係資料図録刊行、伊能大図全国パネル公開展を開催します。

また忠敬翁の世界的な業績にまで目を向け、広く世界、時代との関わりから、伊能図をめぐる人的関連を探るため、ドイツからシーボルトの子孫をはじめ、忠敬翁の業績にかかわった子孫をお招きし、200年の時空を超えて、忠敬翁の日本地図が欧米に伝わる契機となったシーボルト事件の「その時」と「その後」を振り返ります。

## 伊能忠敬翁没後200年記念シンポジウム

### 第1部 シーボルト事件～「その時」と「その後」～

5月20日(日) 10:30～11:50 佐原文化会館 **参加費無料**

### 第2部 「伊能忠敬－業績と時代」

6月24日(日) 13:30～17:00 佐原中央公民館 **参加費無料**

#### シーボルト事件とは

ドイツ人シーボルトが伊能図の写しを、母国へ持ち帰ろうとしたことが発覚して事件となりました。江戸後期、日本地図は国外に持ち出すことを禁じられていました。親交があり、伊能図を渡した天文方の高橋景保(至時の子)は処罰され、シーボルトは国外追放となりました。しかし、密かに作った伊能図の写しを持ち出して帰国。初めて海外に日本の正確な姿を伝えました。

1832年には「Nippon」を刊行。ヨーロッパで日本文化を紹介するなど日本に大きく貢献しました。

## 伊能忠敬記念館 特別・企画展

### 特別展「シーボルト家の地図」展

4月24日(火)～6月24日(日)

#### 第1回「伊能忠敬が見た星々」

7月31日(火)～9月24日(月・祝)

#### 第2回「伊能忠敬の協力者たち」

12月4日(火)～平成31年1月20日(日)

問合せ：伊能忠敬記念館 TEL.0478-54-1118



## 伊能大図全国パネル公開展

平成29年2月から伊能大図パネルを地域ごとに分割し、忠敬翁にゆかりのある全国9市町に貸出し一般公開を行いました。伊能忠敬翁没後200年記念式典に合わせて全大図パネルを香取市にもどし、帰着式を行い、完成した日本全図を一般公開。

5月20日(日)～25日(金) 9:00～17:00

※5月20日(日)は13:00から、25日(金)は13:00まで

※5月21日(月)は休館

香取市民体育館 **参加費無料**



## 国宝伊能忠敬関係資料図録刊行

平成22年に国宝に指定された伊能忠敬関係資料2345点のベストセレクション。伊能図や測量器具などの各資料・作品が持つ文化的な価値や美術品的な魅力、そしてそこに凝らされた技術上の工夫などをビジュアルで紹介。

平成30年5月20日(日)より伊能忠敬記念館等で一般販売。

判型：A4変形版

総頁数：120ページ

頒布価格：1000円(税込み)



## 伊能忠敬翁銅像建立事業

伊能忠敬翁銅像建立委員会(会長木内志郎氏)が平成28年10月から寄附を募り、佐原駅南口ロータリー内に北極星の方向を向け銅像を建立。過酷な環境である蝦夷地へ臨む、希望と熱意に満ちた姿を表現。



銅像建立イメージ

除幕式：5月20日(日)

9:15～ **見学自由**

デザイン：木内禮智氏(旧佐原市出身の彫刻家・日展会員)

台座銘板：徳川宗家18代当主 徳川恒孝氏

## 香取の偉人 伊能忠敬翁

伊能忠敬翁は、延享2年(1745年)現在の千葉県九十九里町で生まれ、17歳で伊能家当主となり、現在の香取市佐原で家業のほか、村のため名主や村方後見として活躍しました。

その後、家督を譲り50歳で天文学の本格的な勉強をするため江戸に出て、当時の天文学の第一人者、高橋至時に弟子入りし、55歳(1800年)から71歳(1816年)まで10回にわたり日本全国の測量を行いました。その結果完成した地図は極めて精度の高いもので、ヨーロッパにおいて高く評価され、明治以降、国内の基本図の一翼を担いました。

### 伊能図完成までの測量隊の行程

	測量地	伊能忠敬翁年齢
第1次測量	蝦夷地	55
第2次測量	本州東岸	56
第3次測量	本州西岸	57
第4次測量	東海・北陸	58
第5次測量	畿内・中国	60～61
第6次測量	四国・大和	63～64
第7次測量	九州	64～66
第8次測量	九州	66～69
第9次測量	伊豆七島	70(測量不参加)
第10次測量	江戸	70～71

### 伊能忠敬翁関連略年譜

西暦	年齢	主なできごと
1745	0	現在の九十九里町小関に生まれる。幼名三治郎
1762	17	佐原伊能家の婿養子となりミチと結婚。名を忠敬とする
1781	36	佐原村本宿組名主となる
1794	49	家督を長男景敬に譲り隠居
1795	50	江戸深川黒江町に住み高橋至時の弟子となる
1800	55	全国測量を始める
1804	59	日本東半部沿海地図を幕府に提出
1816	71	全国測量を終える
1818	73	忠敬没
1821		大日本沿海輿地全図が完成
1828		シーボルト事件
1873		皇居炎上、大日本沿海輿地全図正本焼失
1923		関東大震災、大日本沿海輿地全図副本焼失
2001		アメリカ議会図書館で伊能大図207枚発見
2010		「伊能忠敬関係資料2345点」国宝に指定